

# BEST AVAILABLE COPY

## [Reference 8]

Japanese Utility Model Application No. 59-26990 (Japanese Utility Model Laid-open Disclosure No. 60-139712)

Disclosure Date: September 14, 1985

Applicant: Shiseido

Title of Invention: Container having an Integral Structure

In the present invention, a portion of an outer circumferential wall of a container 1 and the same of an inner lid 2 are connected with each other via a foldable thin wall section 4. Further, a portion of the outer circumferential wall of the container 1 which is opposite from the thin wall section 4 and a portion of an outer circumferential wall of an outer lid 3 for closing the container 1 are connected to each other via a foldable thin wall section 5.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-139712

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>B 65 D 1/34  
A 45 D 33/00  
A 47 L 13/286

識別記号

庁内整理番号

6727-3E  
6671-3B  
8008-3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)9月14日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 一体構造の容器

⑯ 実 願 昭59-26990

⑰ 出 願 昭59(1984)2月27日

⑱ 考 案 者	鳥 羽 忠 臣	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
⑱ 考 案 者	大 竹 惟 隆	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
⑱ 考 案 者	松 田 潤	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
⑱ 考 案 者	別 田 安 弘	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	株式会社新和製作所内
⑱ 考 案 者	中 沢 和 也	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	株式会社新和製作所内
⑲ 出 願 人	株式会社資生堂	東京都中央区銀座7丁目五番五号	
⑲ 出 願 人	株式会社新和製作所	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	
⑳ 代 理 人	弁理士 渡 辺 文 雄		

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

第1の容器の外周壁の1箇所と、第1の容器の内部をふたする内蓋の外周壁の1箇所、又は第1の容器を底面でふたする第2の容器の外周壁の1箇所とが、折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され：また第1の容器又は第2の容器の外周壁の他の1箇所、あるいは第2の容器の外周壁の他の1箇所で折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され、かつ第2の容器を底面でふたする第3の容器の外周壁の他の1箇所と、第1の容器、第2の容器、又は第3の容器をふたする外蓋の外周壁の1箇所とが、折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され：更に前記各容器、前記内蓋及び前記外蓋に蓋開閉固定用の係止部を有し、可撓性の熱可塑性合成樹脂の成形一体構造であることを特徴とする容器。

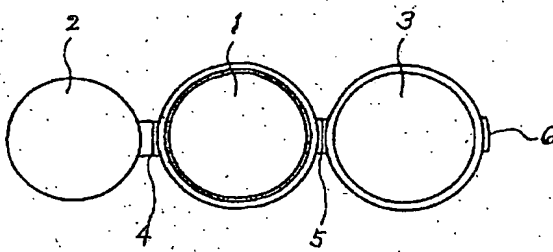
図面の簡単な説明

第1図ないし第3図は本考案の第1の実施例を

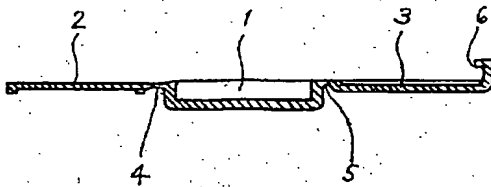
示すもので、第1図は展開図、第2図は第1図の縦断面図、第3図は組立状態の縦断面図である。第4図ないし第6図は第2の実施例を示すもので、第4図は展開図、第5図及び第6図は第4図のa-a断面図及びb-b断面図である。第7図ないし第9図は第3の実施例を示すもので、第7図は展開図、第8図及び第9図は第7図のa-a断面図及びb-b断面図である。第10図ないし第12図は第4の実施例を示すもので、第10図は展開図、第11図は第10図の縦断面図、第12図は組立状態の縦断面図である。

1……第1の容器、2……内蓋、3……外蓋、  
7……第2の容器、14……第3の容器、4、  
5、8、13、15、16……薄肉部、6、9、  
10、11、12、17、18、19……係止部。

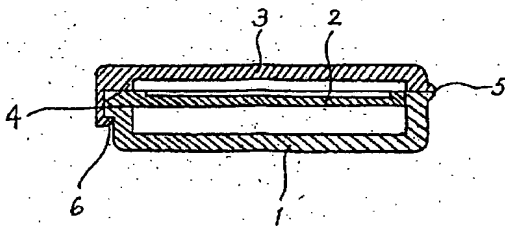
※ 1 図



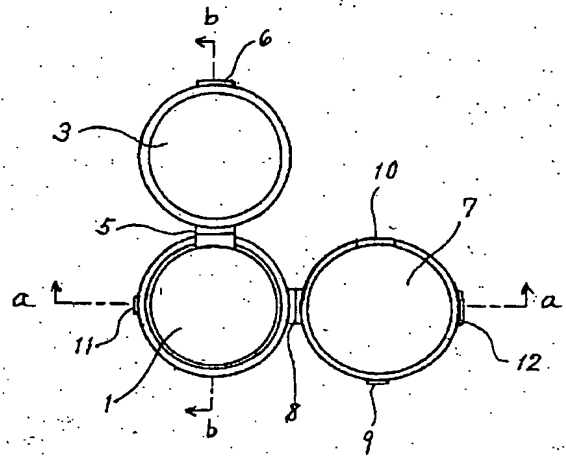
※ 2 図



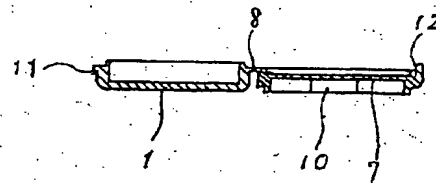
※ 3 図



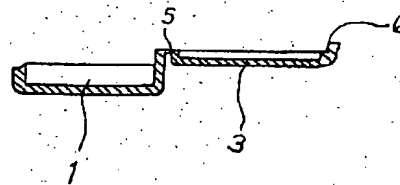
※ 4 図



※ 5 図



※ 6 図



※ 8 図

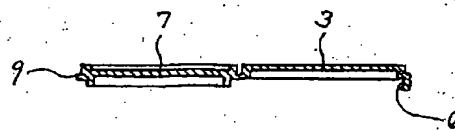


図7

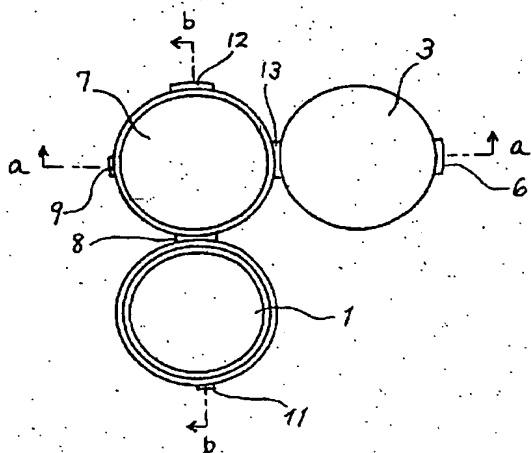


図9

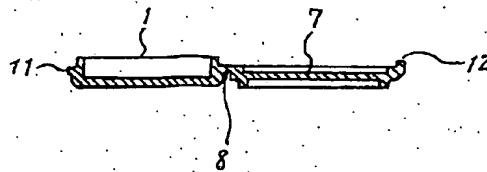


図12

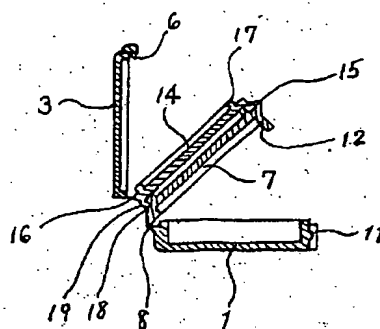


図10

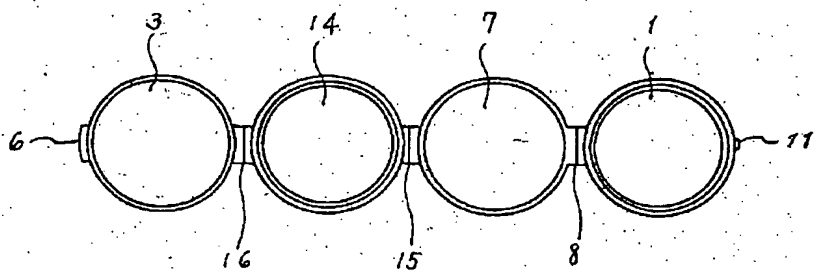
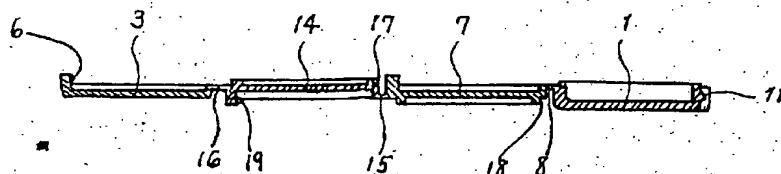


図11



# 公開実用 昭和60-139712

⑯ 日本国特許庁(JP)

⑰ 実用新案出願公開

⑱ 公開実用新案公報(U)

昭60-139712

① Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑲ 公開 昭和60年(1985)9月14日

B 65 D 1/34  
A 45 D 33/00  
A 47 L 13/286

6727-3E  
6671-3B  
8008-3B

審査請求 未請求 (全 頁)

⑳ 考案の名称 一体構造の容器

㉑ 実 願 昭59-26990

㉒ 出 願 昭59(1984)2月27日

㉓ 考 案 者	鳥 羽 忠 臣	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
㉔ 考 案 者	大 竹 惟 隆	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
㉕ 考 案 者	松 田 潤	東京都中央区銀座7丁目五番五号	株式会社資生堂内
㉖ 考 案 者	別 田 安 弘	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	株式会社新和製作所内
㉗ 考 案 者	中 沢 和 也	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	株式会社新和製作所内
㉘ 出 願 人	株式会社資生堂	東京都中央区銀座7丁目五番五号	
㉙ 出 願 人	株式会社新和製作所	横浜市戸塚区小菅ヶ谷町1750番地	
㉚ 代 理 人	弁理士 渡辺 文雄		

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 一体構造の容器

### 2. 実用新案登録請求の範囲

第1の容器の外周壁の1箇所と、第1の容器の内部をふたする内蓋の外周壁の1箇所、又は第1の容器を底面でふたする第2の容器の外周壁の1箇所とが、折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され、また第1の容器又は第2の容器の外周壁の他の1箇所、あるいは第2の容器の外周壁の他の1箇所で折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され、かつ第2の容器を底面でふたする第3の容器の外周壁の他の1箇所と、第1の容器、第2の容器、又は第3の容器をふたする外蓋の外周壁の1箇所とが、折り曲げ可能な薄肉部を介して接続され、更に前記各容器、前記内蓋及び前記外蓋に蓋開閉固定用の係止部を有し、可撓性の熱可塑性合成樹脂の成形一体構造であることを特徴とする容器。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、化粧のために使用する、スポンジパフを収納する中皿を設けたコンパクト容器、又は

自動車ボディにワックスがけをするために使用する、スポンジ等の塗布具を収納する部分を設けたワックス容器等に関するものである。

従来のこの種コンパクト容器は、容器（容器本体）と中皿と蓋とが各別部品として成形され、1本の共通蝶番軸により組み立てられたもので、構成部品は4個と多く、生産コストは比較的高価となる。更に各部品が別々に生産されるので、組立に際し各部品に許容される寸法精度及び外觀上の限界規格がきびしくならざるを得ないという欠点がある。

また、従来のワックス容器の場合は、スポンジが蓋の上に乗せられ、その上からわん状の容器でふたをした形式のものが多く、これを使用する場合は、このわん状の容器を取り外してスポンジを取り出し、蓋をあけて使用する。この場合、わん状の容器と蓋は不用となるので、その置き場所に困り、また紛失するおそれがある。更に構成部品が3個と多いので、生産コストが比較的高価となる。

本考案の目的は、上記した従来の容器の欠点を解決し、部品点数をただの１個にして生産コストを安くし、かつ堅ろうで美観を呈し、また省資源化、省エネルギー化にも役立つ容器を提供するにある。

本考案の要点は、１個又は複数個の容器（容器本体）と内蓋（中皿）と外蓋とを、それぞれの外周壁の１箇所又は２箇所で、繰り返し折り曲げ可能な薄肉部を介して接続延長し、これらを可撓性の熱可塑性合成樹脂を用いて一体成形し、組み立てて成るものである。

以下、図面に例示した実施例により、本考案を具体的に説明する。第１の実施例を第１図ないし第３図に示す。第１図は展開図であり、第２図は第１図の縦断面図、第３図は第１図のものを組み立てたときの縦断面図である。本実施例は容器と内蓋と外蓋とが一直線上に接続延長されて一体成形されたものである。

容器１の外周壁の１箇所と、容器１の内部をふたする内蓋２の外周壁の１箇所とが、折り曲げ可



能な薄肉部4を介して接続され、また容器1の外周壁の、薄肉部4と反対側の箇所と、容器1をふたする外蓋3の外周壁の1箇所とが、折り曲げ可能な薄肉部5を介して接続されている。薄肉部4を軸として折り曲げ、内蓋2を閉じて容器1の内部をふたし、更に薄肉部5を軸として折り曲げ、外蓋3を閉じて容器1をふたすると、第3図のように組み立てられる。外蓋3を閉じたとき、外蓋3の係止部6は薄肉部4の外側の突出部に係合するようになっている。

薄肉部4及び5は、繰り返し折り曲げ可能な程に薄い直線の肉部であって、従来の蝶番軸に相当する部分である。この薄肉部4、5の厚さは、可撓性の熱可塑性合成樹脂（例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリビニルブチラール、ポリアリレート）を用いた場合、大体0.05mm位が適当である。

本考案のような、容器と内蓋と外蓋等を折り曲げ可能な薄肉部を介して接続延長する一体成形品は、最近著しく進歩した精密射出成形技術によっ

て、初めて可能となった。

この第 1 の実施例は、薄肉部 4 の外側の突出部が容器 1 の係止部を兼ねることができるので、成形用金型がその分だけ簡略になるという利点があるが、係止部 4 が摩耗して薄肉部の蝶番機能を果せなくなる恐れがあるため、本実施例の容器の用途としては、コンパクト容器やワックス容器等のうち、比較的使い捨てに近いものに適している。

なお、薄肉部により接続される容器、内蓋及び外蓋の外周壁の上下方向位置は、ふたする方では外周壁の下端部、ふたされる方では外周壁の上端部に定めるのが構造上自然である。

次に本考案の第 2 の実施例を第 4 図ないし第 6 図に示す。第 4 図は展開図、第 5 図は第 4 図の a-a 断面図、第 6 図は第 4 図の b-b 断面図を示している。各図において第 1 図～第 3 図と同一部分には同じ番号を付けてある。

第 2 の実施例は第 1 の実施例の類似例であって、第 1 の実施例と異なる点は、内蓋 2 の代りに第 2 の容器（中容器）7 を使用したこと、及び第 1 の

容器 1、外蓋 3 及び第 2 の容器 7 の接続延長を一直線から直角方向に変えて、第 1 の容器 1 に専用の係止部 11 を設けたことである。

第 4 図において、第 2 の容器 7 は、第 1 の容器 1 の外周壁の、外蓋 3 と直角方向になる箇所では薄肉部 8 を介して接続され、この薄肉部 8 を折り曲げて、底面で第 1 の容器 1 をふたするようになっている。ふたしたとき、第 1 の容器 1 と第 2 の容器 7 とは、それぞれの係止部 11、12 の係合によって固定される。その上から外蓋 3 が重ねてふたをされ、外蓋 3 と第 2 の容器 7 とは、それぞれの係止部 6、9 の係合によって固定される。

第 1 の実施例の内蓋 2 を、第 2 の実施例で第 2 の容器 7 としたのは、単なる仕切板と同様な形状及び機能しか持たない内蓋では満足し得ない用途向きとして中容器に代えたものである。しかし、内蓋でも、その上にスポンジ程度の物を収納することは可能である。

第 2 の実施例のごとく、薄肉部を係止部として兼用しない容器は、使い捨てとせずに半永久的に

使用することを目的としたコンパクト容器やワックス容器等に適している。

次に、本考案の第3の実施例を第7図ないし第9図に示す。第7図は展開図、第8図は第7図のa-a断面図、第9図は第7図のb-b断面図を示す。第7図～第9図において、第1図～第6図と同一部分には同じ番号を付けてある。

本実施例は、図示のごとく、第1の容器1の外周壁の1箇所と、第1の容器1を底面でふたする第2の容器7の外周壁の1箇所とが、薄肉部8を介して接続され、また第2の容器7の外周壁の他の1箇所と、第2の容器7をふたする外蓋3の外周壁の1箇所とが、薄肉部13を介して接続され、第1の容器1をふたした第2の容器7は、それぞれの係止部11、12の係合によって固定され、また第2の容器7をふたした外蓋3は、それぞれの係止部9、6の係合によって固定される。

第3の実施例の容器の利点は、第1の容器1に第2の容器7をふたした状態のままで、外蓋3をあけて第2の容器7の内容物のみを使用すること

ができると共に、第2の容器7に外蓋3をふたした状態のままで、第1の容器1をふたしている第2の容器7をあけて、第1の容器1の内容物のみを使用することができる。従って、この容器は、コンパクト容器やワックス容器等の他に、互いに使用目的の異なる2種類の内容物を収納する容器として利用するのに適している。

前記第1～第3の実施例の容器は、外蓋の開閉方向と、内蓋又は第2の容器の開閉方向とは同じ方向ではなかったが、これを同じ方向にした例を第4の実施例として第10図をいし第12図に示す。第10図は展開図、第11図は第10図の縦断面図、第12図は第10図のものを組み立てたときの縦断面図を示す。第10図～第12図において、第1図～第9図と同一部分には同じ番号を付けてある。

第4の実施例は、第3の実施例における第2の容器7に他のもう一つの第3の容器14を接続延長したうえ、すべてを一直線上に配したものである。すなわち、第1の容器1の外周壁の1箇所と、

第 1 の容器 1 を底面でふたする第 2 の容器 7 の外周壁の 1 箇所とが、薄肉部 8 を介して接続され、また第 2 の容器 7 の外周壁の、薄肉部 8 と反対側の箇所と、第 2 の容器 7 を底面でふたする第 3 の容器 14 の外周壁の 1 箇所とが、薄肉部 15 を介して接続され、更にまた、第 3 の容器 14 の外周壁の、薄肉部 15 と反対側の箇所と、第 3 の容器 14 をふたする外蓋 3 の外周壁の 1 箇所とが、薄肉部 16 を介して接続されている。

第 2 の容器 7 と第 3 の容器 14 は、薄肉部 15 を折り曲げることにより、それぞれの係止部 18、19 の係合により固定され、第 1 の容器 1 と第 2 の容器 7 は、薄肉部 8 を折り曲げることにより、それぞれの係止部 11、12 の係合により固定され、外蓋 3 は薄肉部 16 を折り曲げることにより開閉でき、閉じたときはそれぞれの係止部 6、11 の係合により固定される。

第 4 の実施例の容器の利点は、第 12 図で判かるように、第 2 の容器 7 と第 3 の容器 14 とを係止部 18、19 の係合により固定したままの状態



で、第1の容器1の蓋（第2の容器7と第3の容器14の合体）を開閉する場合、及び第3の容器14の外蓋3を開閉する場合は、両者の開閉方向が同じ方向になるため、開閉し易いという点である。

第4の実施例において、第2の容器7と第3の容器14を薄い板状の内蓋のごとく形成した場合には、1枚の内蓋としての役目をなし、開閉方向が同じの<sup>基礎化粧用</sup>コンパクト容器となる。また、第2の容器7の深さを深くした場合には、別の化粧用コンパクト容器、例えばメイクアップ化粧用一式を収納し、第1の容器1には基礎化粧料、第3の容器14には基礎化粧料用パフを収納することにより、2種類の化粧機能を併有させることができる。

なお、前記各実施例では、容器の平面の形状を円形にしたが、本考案はこれに限定されず、正四角形、正多角形であっても適用できる。

以上述べたごとく、本考案は、可撓性の熱可塑性合成樹脂を用いて、2個ないし3個の容器と、内蓋、外蓋とを、それぞれの外周壁で折り曲げ可



能な薄肉部を介して接続延長した成形一体品で構成されているので、生産コストは比較的安く、かつ寸法精度の問題も解決され、堅ろうで美観の容器が歩留り良く生産できる。しかも、一体成形されるので、省資源化、省エネルギー化にも役立つ。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図ないし第3図は本考案の第1の実施例を示すもので、第1図は展開図、第2図は第1図の縦断面図、第3図は組立状態の縦断面図である。第4図ないし第6図は第2の実施例を示すもので、第4図は展開図、第5図及び第6図は第4図のa-a断面図及びb-b断面図である。第7図ないし第9図は第3の実施例を示すもので、第7図は展開図、第8図及び第9図は第7図のa-a断面図及びb-b断面図である。第10図ないし第12図は第4の実施例を示すもので、第10図は展開図、第11図は第10図の縦断面図、第12図は組立状態の縦断面図である。

1…第1の容器	2…内蓋	3…外蓋
7…第2の容器	14…第3の容器	



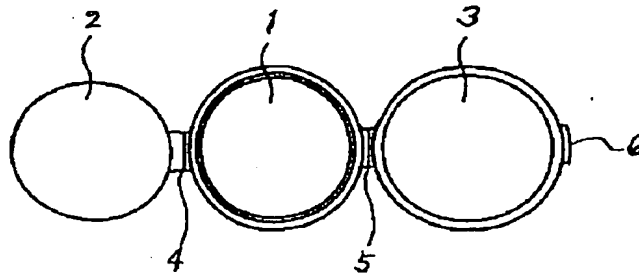
4, 5, 8, 13, 15, 16 ... 薄肉部

6, 9, 10, 11, 12, 17, 18, 19 ... 係止部

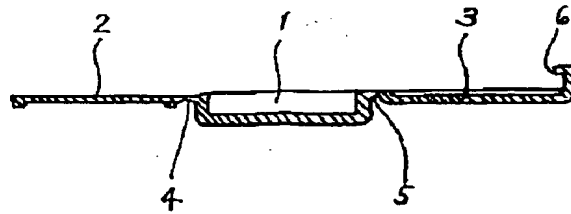
代理人 弁理士 渡辺 文雄



第 1 図



第 2 図



第 3 図

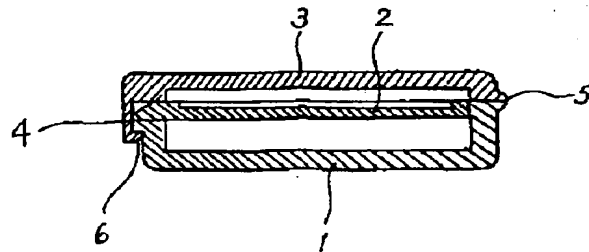


図4

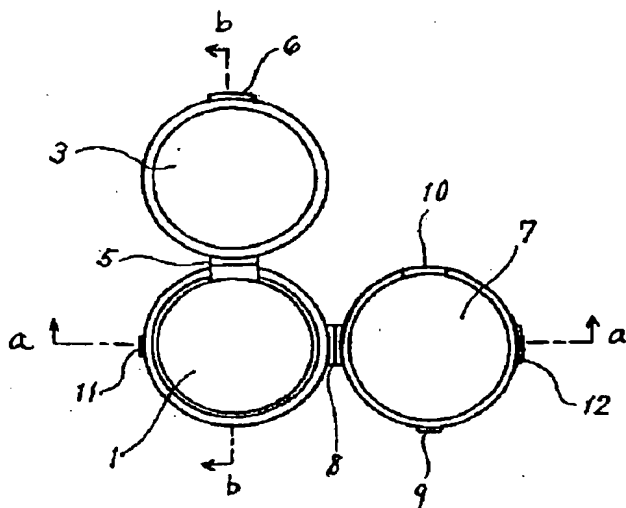


図5

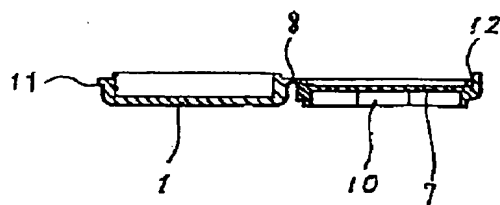
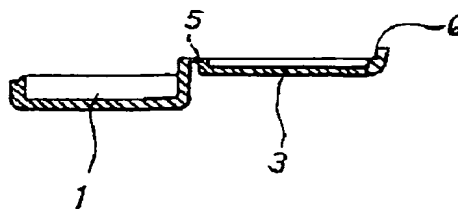
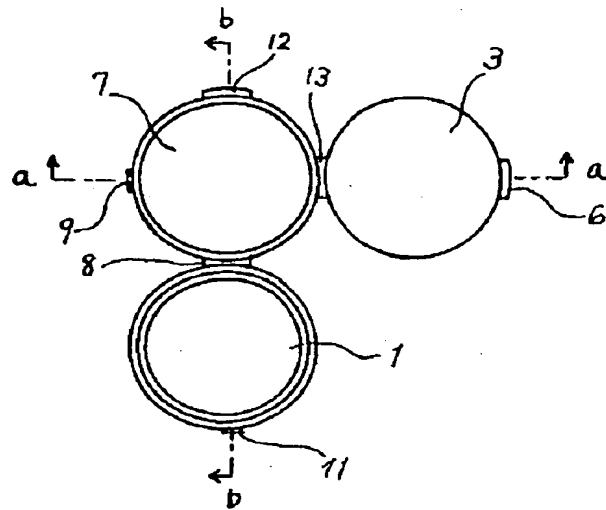


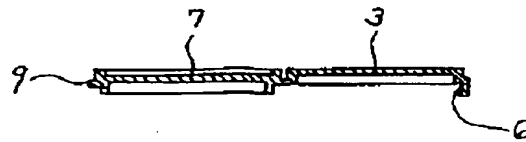
図6



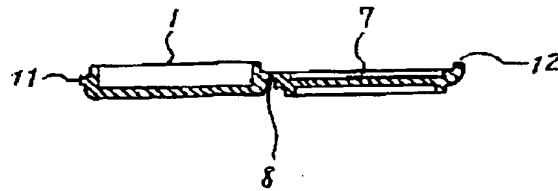
第 7 圖



第 8 圖



第 9 圖



264

代理人 弁理士 渡辺 文雄

実開 60-139712

図10

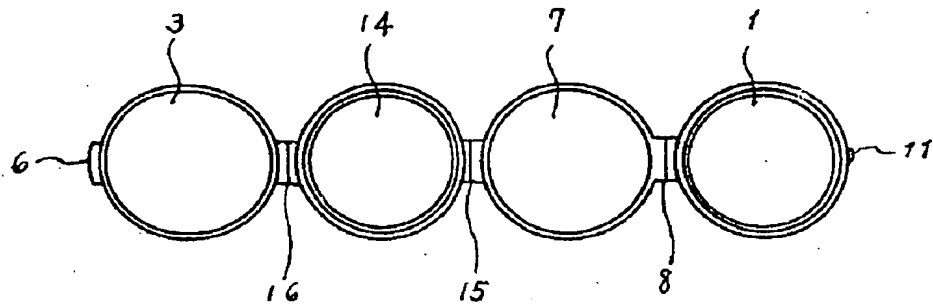


図11

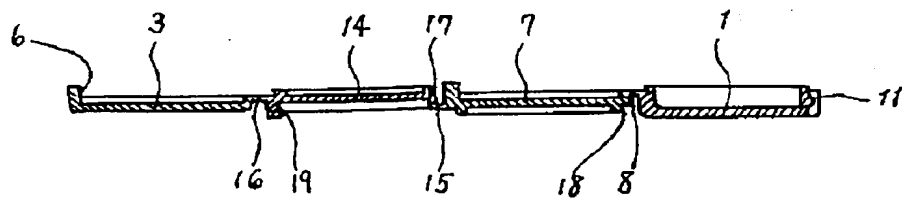
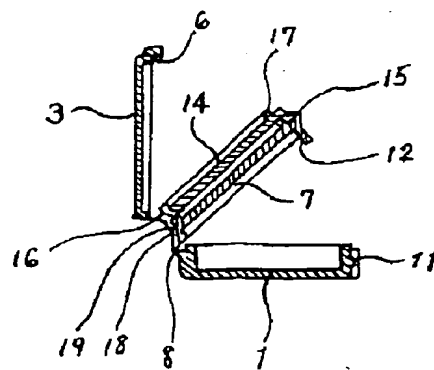


図12



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**